

人や環境にやさしいナガイ壁紙シリーズ

**eterno**<sup>®</sup>  
wallpaper



インプリミフリース

# IMPRIMI FLEECE

## 施工説明書

- 【1】 保管
- 【2】 運搬
- 【3】 指示書の作成
- 【4】 下地調整
- 【5】 貼り付け手順
- 【6】 ジョイント方法
- 【7】 標準施工道具
- 【8】 メンテナンス

### 【1】 保管

- インプリミフリースメディアは立てて保管してください。
- 高温多湿な環境下での保管は避け、開封後はできるだけ早めにご使用ください。
- メディアに汚れが付かないよう、注意してください。

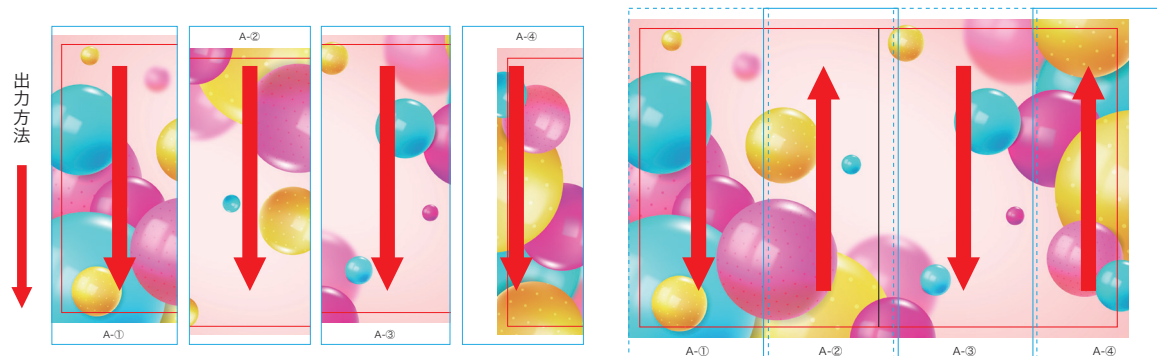
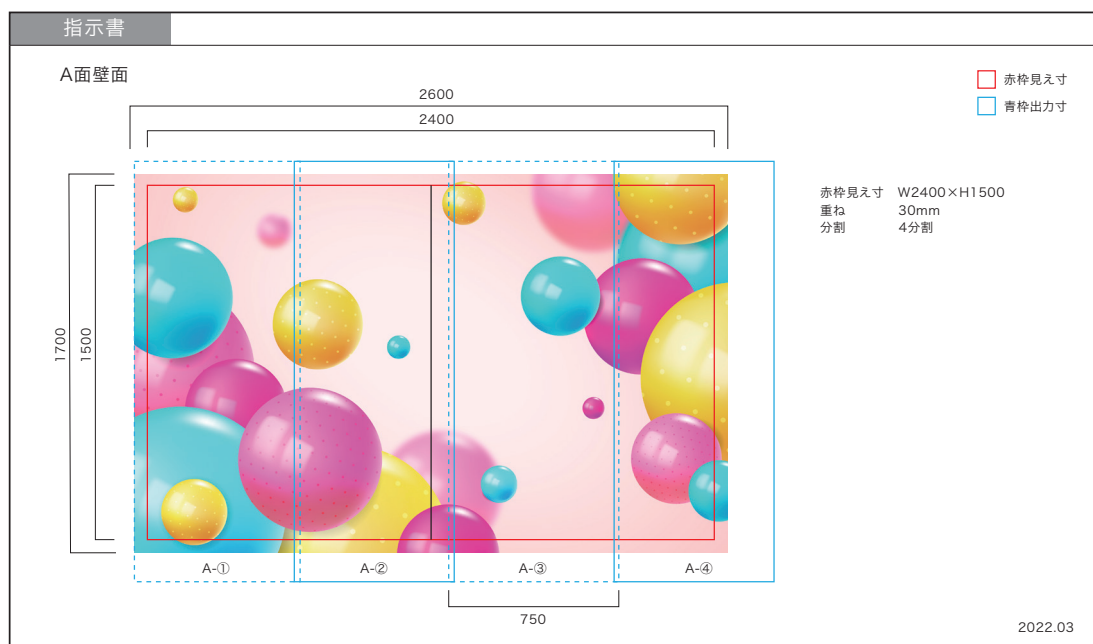
### 【2】 運搬

- 運搬時には下積みを避けて、メディアが折れたりつぶれたりしないよう注意してください。

### 【3】指示書の作成

- 絵合わせのある大面印刷の場合、指示書を制作しそれに従って施工してください。
- 施工面を実測し、指示書のパーツサイズと照らし合わせて確認します。
- 指示書の伸ばし寸法を考慮し、1枚目の貼り付け位置を確認します。
- 指示書に貼り付け順が記載されている場合は、その順序に従って貼り付けます。
- 上下左右に会社名やロゴなど欠けてはならない重要なデザインがある場合は、そのデザインのあるパーツを貼り始めの基準にします。
- 事前に採寸した施工面の寸法(見え寸)と実際の出カサイズ(出カ寸)、分割数、重ねシロを明記してください。
- 貼り付け位置、貼り付け順の指示がある場合はその内容も明記してください。
- 出隅、入隅、開口、窓などがある場合は壁面の形状も記入してください。
- 製作ロットにより色調や外観が異なる場合があるため、つなぎ貼りの場合は同一ロットをお使いください。  
また、同一ロットの場合でも流れ方向で微妙に厚みが異なり、印字ムラの原因となる場合があります。  
つなぎ貼りの場合は以下のようにデータを出力してください。

例)



#### 【4】下地調整

- 下地調整は可能な限り丁寧に行ってください。
- 下地材は同一の素材で統一し、固定をしっかりと行ってください。
- 下地の不陸はパテやサンドペーパーなどを用いできるだけ全体が平滑になるよう仕上げてください。
- 目空きや膨れなどを発生させることがあるため、壁紙施工専用のパテ、シーラー、糊などをご使用ください。
- 下地材によってシーラー処理を行ってください。(石綿スレート・モルタル・コンクリートPC板・ベニヤ板・ケイ酸カルシウムなどの下地材)

石綿スレート	シーラー処理が必要
モルタル	シーラー処理が必要
コンクリートPC板	シーラー処理が必要
ベニヤ(木製品)	シーラー処理が必要
ケイ酸カルシウム	シーラー処理が必要

※注

下地調整をしても経時変化や温熱変化により、下地ボードが収縮・変形する場合があります。

下地ボードの収縮・変形を防ぐために下地ボードの固定を十分確認の上、下地処理をしてください。

## 【5】貼り付け手順

### ■ インプリミフリースメディアは「紙系壁紙」に分類されます。

一般的に販売されている塩ビ壁紙とは一部特徴が異なりますのでご注意ください。

#### ① 指示書と材料の確認

はじめに材料と同梱されている貼り付け指示書を確認してください。

糊付前に施工面と材料の採寸を行い、不足がないかを確認してください。

#### ② 施工前写真の撮影

施工前に施工面と施工に使用する材料やその他の写真撮影を行ってください。

この場合F☆☆☆☆の表示が写るように工夫して撮影してください。

#### ③ 糊の塗布量

基材への塗布は均一に行ってください。(糊付機使用)

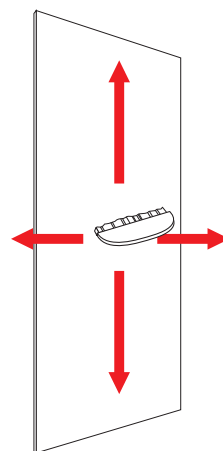
塗布量は24g/m<sup>2</sup>推奨です。

塗布量の不足は壁紙接着不良の原因となります。

糊はボンド入りの原液タイプをお使いください。

#### ④ 位置決めから貼り込みまで

- 下げ振・レーザーなどを使用し、貼り出し位置の基準を出します。(垂直出し)
- 糊付け後、細かく畳まず大きく丸めてたたみジワを防止してください。
- 出力後、壁紙が反る場合がございます。  
その際は出力面を外側にし、丸めて保管してください。  
※反りが強い場合も、糊付けすることで軽減されます。
- 10～20分オープンタイムを取り、壁紙が柔らかくなってから貼り出してください。
- デザイン上、ロゴマークなどの位置の指定がある場合は貼り出し位置が変わる場合があります。(指示書確認)
- 貼り出しの1枚目を必ず垂直に貼って下さい。
- 撫で刷毛はできるだけ毛の柔らかいものを使用してください。
- 貼り付けは壁紙の中央部から外へ向けて壁紙の裏面に気泡が残らないように丁寧に圧着します。
- 絵柄を合わせて貼りますが、全体を確かめながらずれないように貼り進んでください。
- 上部から柄合わせを始めるとしたに行くにしたがって柄がずれていくことがありますので、材料の中央から上下に柄を合わせてください。
- ローラーは樹脂製の柔らかいものをお使いください。
- 出隅は垂直・カネがとれていないと浮く原因になります。



## 【6】ジョイント方法

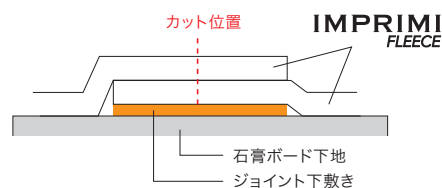
### ① 重ね貼り

貼り付け指示書の記載事項に従い、約25mm・30mm重ねて、重なった部分の中央に定規を当てカッターナイフで裁断します。

カットの際は目開きを防止するため、刃先を鋭い状態にしてまっすぐ垂直に刃を当ててカットしてください。

石膏ボード下地の場合は表層紙を切り込まないように、ジョイント下敷きなどを使用して防止してください。

ローラーはできるだけやわらかめの樹脂ローラーの使用し、丁寧に圧着してください。



### ② 付着した糊の除去

メディアの表面などに糊が付着した場合は、きれいな水分を含ませたスポンジや布で直ちに優しくふき取り、その後さらに乾いたウエスでやさしくふき取ってください。

糊が付いたままにしておくと、カビや変色、ツヤ、汚れなどの原因になります。

施工時、施工後などは換気を十分に行ってください。急激な乾燥などは見開きの原因となりますので、空調機などの使用時にご注意ください。

## 【7】標準施工道具

エテルノシリーズ専用接着剤 ボンド入り原液使用タイプ / F☆☆☆☆・JISマーク製品



EBG100(原液タイプ)



EBG200(強力・原液タイプ)

## 【8】メンテナンス

- 通常の使用における汚れであれば、水や水で薄めた中性洗剤などをやわらかいウエスに少量付け、軽くふいてください。その後さらに乾いたウエスでやさしく表面の水分をふき取ってください。
- 研磨剤を含んでいるものの使用は表面を摩耗させるため、注意が必要です。
- シンナー、ベンジンなどの有機溶剤の使用は避けてください。
- 染色物や油性マジックペンなどの汚れがついてしまった場合、落とすことはできません。
- 高温、多湿や日光が長時間あたる場所では変色や退色、剥がれを起こす恐れがあります。
- 経時の変化により、部分的に剥がれが発生する場合があります。  
(特に水分が多く発生しやすい場所 [ 窓枠・ドア枠回り・洗面所周辺など ] や部屋の角 [ 入隅・出隅など ] )  
その場合は下地の汚れを取り除き、壁紙用接着剤などで補修してください。
- セロファンテープや粘着テープを壁紙に使用すると、壁紙をいためたり跡が残る場合があります。  
タバコの煙や台所の油煙は大変拭きにくく、短時間で壁紙を変色させます。長時間放置しないよう注意するとともに、できるだけ室内の換気を心掛けてください。また、湿気や結露はカビの原因となりますので、換気や湿度調整を心掛けてください。

お問い合わせ先

株式会社ナガイ インテリア事業部 東京営業所  
〒107-0062 東京都港区南青山2-9-3 F TEL 03-6434-9840 FAX 03-6434-9841